

観光課題とその対策など

混雑対策

時期・時間・場所の分散化を推進しています
 ・京の夏の旅・京の冬の旅などの実施による観光客の分散
 ・朝・夜観光の推進
 ・観光地の混雑情報を発信する観光快適度マップの公開 など
 コロナ禍での3密対策とも連動



マナー対策

・マナー啓発のためのステッカー「ENJOY RESPECT KYOTO」配布
 ・新しい京都のまちのエチケットを「京都まちけっと」として啓発 など



宿泊施設の急増等に伴う問題への対策

・民泊対策に特化民泊した専門チームを設置、体制強化 など

2021年
3月末には
違法民泊が
ゼロに

環境に配慮した取組等、SDGsの達成に貢献

・公共交通機関の利用を促進するパークアンドライドの推進
 ・宿泊施設を対象としたバリアフリー基準の強化(R3年10月～)や、地域との調和のための事前説明手続の充実(R3年4月～)
 ・地域と調和した宿泊施設への表彰の実施 など



これからの京都観光

地域や社会の課題解決、SDGsの達成等に貢献していく持続可能な観光への取組を、観光事業者等、観光客、市民の皆様と共に、より一層進めていきます。

京都観光行動基準 (京都観光モラル) (令和2年11月策定)



京都が京都であり続けるために、観光事業者等・観光客・市民の皆様とともに大切にしていきたいこととして策定。観光事業者において、「環境への取組」や「地域と連携した取組」など、観光モラルに沿った取組が進んでいます。



京都観光振興計画2025(令和3年3月策定)

「市民の暮らしの豊かさの向上、地域や社会の課題解決、SDGsの達成に貢献し、感染症や災害などの様々な危機や環境問題に対応していく持続可能な観光」を目指して策定。策定に当たっては、宗教、文化、経済、産業、交通、市民公募委員など、京都観光に関連する幅広い分野の方々に審議していただきました。



新しい京都観光に向けた共同宣言(令和3年11月実施)

京都市及び京都市観光協会が、京都の観光関連業界等27団体と共に、市民生活と観光の調和を図り、市民の共感の輪の拡大に努め、SDGsの達成等に貢献する持続可能な新しい京都観光に取り組むことを宣言しました。



私たちの暮らしと 京都観光

観光は人々の心や人生の豊かさを高めるとともに、まちの持続的な発展を支え、市民の暮らしを豊かにし、交流を通じて国際親善や国際平和への貢献にもつながるもので、大切な活力として都市を支えています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、インバウンド需要を含め観光需要が激減したことで、観光が幅広い産業や文化・芸術に寄与していたことが、改めて認識されています。

今後の京都観光の回復に当たっては、観光課題が発生していたコロナ禍前の状態に戻すのではなく、地域や社会の課題解決につながる持続可能な観光を目指します。

ここでは、観光が私たちの暮らしや産業、経済、文化などにどのように関わっているのかをご紹介します。

産業、経済、雇用や税収

観光のチカラで経済活性化、雇用創出！

観光客が市内で
使った金額

1兆2367億円

(出典：R1 京都観光総合調査)

市民の年間消費支出の
81.3万人分
(55.4%)に相当

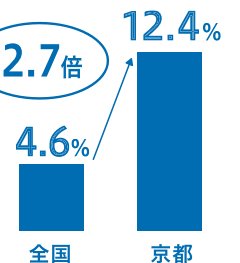


京都の産業に
占める割合

12.4%

(出典：R1 京都観光総合調査)

※京都市の市内総生産に占める観光客の消費に伴う経済効果(粗付加価値効果)割合



観光による税収効果

390億円※

(令和元年)

※宿泊税42億円を含む

※観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」の手法を参考に独自推計

※(参考)令和4年度当初予算額9204億円(一般会計)に占める観光振興対策に係る予算額は6億7千万円(予算のうち0.073%)



観光による雇用効果

15万3千人※

(出典：R1 京都観光総合調査)

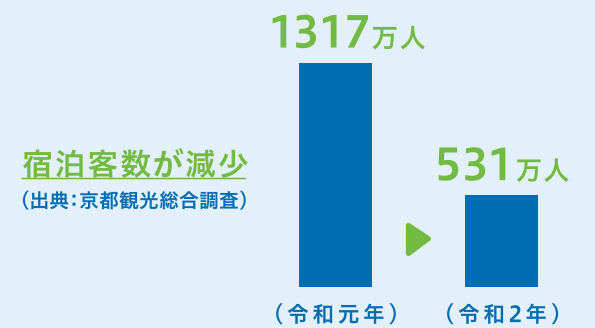
※京都市全体の就職者数(74万人(平成28年))の20.7%

雇用者の
5人に1人



その一方で…

新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需要が激減し、大きな影響が出ています。



《インタビュー》

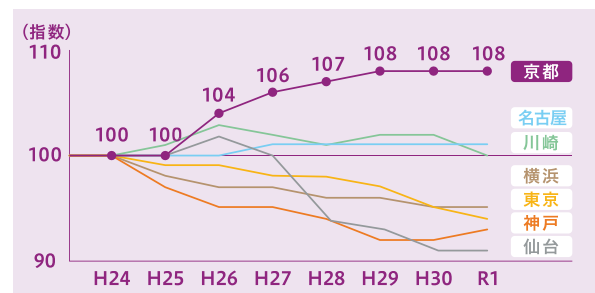
★ 地元の卒業生の雇用、学校への講義など、学校と連携した取組や、伝統産業製品の展示会等の開催、レストランでの地域の食材の提供をしています。(フォーシーズンズホテル京都)

★ 市内経済の中でも観光の位置付けは大きく、他都市の事業者において、京都への出店希望も多いです。(京都商工会議所)

観光客が訪れることで、 まちづくりが進展！暮らしが便利に！

● 市バス走行キロ数の推移（指数）

この間、他の公営バス事業者が走行キロ数を減らしている状況の中、観光利用にも支えられ、本市は走行距離を伸ばし、利便性の向上を図ってきました。



政令指定都市の公営バス（300両以上）との比較
平成24年度を100とした場合

● 市バスの路線・ダイヤの拡充による 生活路線、観光に便利な路線の 利便性向上

車両数 **+58両** 764両 ▶ 822両
(平成24年度) (令和元年度)

系統数 **+10系統** 74系統 ▶ 84系統
(平成24年度) (平成29年度)

● バス待ち環境の向上 (バス停上屋、バス接近表示器、ベンチなどを整備)



バスやタクシーが
たくさん走っているので、
便利ですね。

《インタビュー》

- ★ 観光客の御利用により収益が確保でき、バリアフリー化などの設備投資もできました。また、「撮影所前駅」を開業した結果、北野線沿線から京都駅等へのアクセスが向上しました。(京福電鉄)
- ★ 臨時列車の運転路線を、観光客も含めた御利用の多い時期に合わせて増便し、沿線にお住まいの方にもより便利で快適に御利用いただいております。(JR西日本)
- ★ 京都は観光客のタクシーの御利用が多く、まちの規模以上に台数が多いので、乗車しやすい環境にあります。また、大型荷物・多人数対応の大きい車が他都市よりも多く、市民の方にも快適に御利用いただけています。(京都タクシー業務センター)

政令指定都市(20都市)の中で



※政令指定都市における人口千人あたりの数で比較

宿泊税を活用した まちづくりも進展！



バスターミナルの
ミスト設置



無電柱化の推進



上記のほか、宿泊税を活用し、洋式トイレの整備、歩道勾配の改善等の取組を実施してきました。

《その一方で…》

新型コロナウイルスの拡大により、
まちづくりにも影響が出ています。

市バスの
黒字系統数が減少 21系統 ▶ 0系統
(令和元年度) (令和2年度)

宿泊税収入が減少 42億円 ▶ 13億円
(令和元年度) (令和2年度)

観光客が訪れることで、 文化の維持・継承にも貢献！

国際会議の
開催件数

(出典：R1 JNTO国際会議統計)

383件 6年間で
2.2倍
<全国3位>

企業・産業活動や研究・学会活動等に伴う会議等は、
地域経済の活性化や都市格の向上などの効果があります。

観覧者数・入城者数（令和元年度）



観光客が支払う入場料や
宿泊税は、文化施設等の
運営にも活用されるなど、
優れた文化・文化財に身近
に触れられる環境づくり
に役立っています。

《インタビュー》

- ★ 観光客の来館も多く、集客力がないと誘致が難しい大規模な展覧会も開催できました。また、運営経費の一部は宿泊税収入から賄われています。(京都市京セラ美術館)
- ★ 観光客の工房訪問によって、職人の皆様が意識していなかった伝統技術の良さや強みに気付くこともあり、また、観光客が京都の技術の高さ、製品の良さなどを、国内外に広げてくれました。(京都伝統産業ミュージアム)

市民意識

京都が観光で
評価されることを
誇りに感じる

68.1%

京都の発展に
観光が重要な役割を
果たしていると感じる

74.5%

(出典：R3 京都観光に関する市民意識調査)

修学旅行

全国の多くの学校から修学旅行先として支持されています。



修学旅行生数
(年間)

70万人

高校を卒業するまでに、修学旅行で
京都を訪れる生徒の割合は**56.4%**です。
(出典：R1 京都観光総合調査)

私たちの暮らしにつながる観光 ～観光が盛んになれば、まちが元気に、心が豊かに～

